

## 山梨県民に自然災害への経済的な備えを啓発

～県の後援を得て降雪シーズン前にチラシ2万部を配布～

日本損害保険協会 関東支部 山梨損保会（会長：梶山 治哉・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 山梨支店長）では、山梨県損害保険代理店協会・山梨県自動車販売店協会・日本自動車連盟山梨支部と当会の連名で山梨県の後援を得て、自然災害に対する経済的な備えとしての保険への加入を促進するチラシ（A4版・両面カラー）2万部作成し、山梨県民に周知します。

近年、全国各地で地震・台風・大雨・雪害等の自然災害が度々発生しています。自然災害があまり多くないと思われている山梨県ですが、過去には大きな被害をもたらす災害も起きています。2014年2月には甲府市甲府で114cmの積雪を記録し、富士川町、道志村、西桂町で避難勧告が発令されました。この災害では、雪の重みで民家のカーポートが潰れるなど、自動車にも被害が多く発生したことから、県民にも車両保険の必要性が認識されました。しかしながら、現在、山梨県の2022年3月末の車両保険加入率（※）は、33.3%と、全国平均の46.5%よりかなり低い状況です。このような状況を踏まえ、県民に損害保険の必要性を再認識してもらうことを目的として、作成しました。

本チラシは、これから降雪の季節を迎えるにあたり、雪災や近年各地で多発している風水災リスク・地震リスクについても学び、備えるための役立つ知識を掲載しています。

自らの命と財産を守るための必要な備えについての情報もお知らせしています。本チラシは山梨県や上述の団体と連携し、県民に広く周知します。

当支部では引き続き、自治体や関係団体と連携し、防災・減災について取り組んでまいります。

（※）出典：損害保険料率機構「2022年度自動車保険の概況」



チラシをPRする梶山損保会長

県内で発生した過去の災害	
地震	水害
<ul style="list-style-type: none"> <li>●1976年6月 関東地方を襲った一部破壊7棟、総額22万円</li> <li>●1983年8月 関東地方を中心に12府県で被害、特に大内川流域に甚大。死者1人、負傷者1人、家屋半壊1棟</li> <li>●1996年9月 関東地方を中心に14府県で被害、死者約3人、負傷者150名、家屋全壊3,903戸、半壊約1,500戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2000年9月 平成12年台風第18号による関東地方に甚大な被害、死者10名、負傷者100名、家屋全壊1,000戸、半壊約2,300戸、自動車約1,000台、倒壊約3,000台</li> <li>●2018年9月 関東地方を中心に14府県で被害、死者約3人、負傷者150名、家屋全壊3,903戸、半壊約1,500戸</li> </ul>
雪害	雪害
<ul style="list-style-type: none"> <li>●2014年2月 114cmの積雪を記録し、甲府市甲府で114cmの積雪を記録し、富士川町、道志村、西桂町で避難勧告が発令されました</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2014年2月 114cmの積雪を記録し、甲府市甲府で114cmの積雪を記録し、富士川町、道志村、西桂町で避難勧告が発令されました</li> </ul>

日本損害保険協会山梨損保会 山梨県損害保険代理店協会  
山梨県自動車販売店協会 日本自動車連盟山梨支部 後援：山梨県

チラシ表

\* 以下 URL からチラシ（PDF）をダウンロードいただけます。

[https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2023/pdf/2311\\_2\\_chirashi.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2023/pdf/2311_2_chirashi.pdf)